

赤字となっており、累積欠損金も約4億1千700万円となっている。

なお、医療制度改革による国の今後の方針として、医療型療養病床は縮減される方向で、介護型療養病床も23年度までに廃止されることとなっている。今後の当該病院を取り巻く環境はより厳しくなる傾向にあり、その機能及び体制など、病院運営のあり方については、再検討の時期に来ていると考えている。

## 公明党

### 救命救急対策

**議員 小児用AED（自動体外式除細動器）の導入について伺いたい。**

**福祉保健部長** AEDは、心臓突然死の主な原因である心臓が細かくけいれんする心室細動の状態に電気ショックを与えることで、救命率の向上が期待できる救命救急のための機器である。平成16年7月からは、一般市民の使用が可能となったことから、本市でもその普及啓発に努めている。

また、8歳未満又は体重が25キログラム未満の小児についても、通常のAEDの電極パッドでは電気エネルギーの負担が大きいため、小児用電極パッドが開発され、本年4月から小児用電極パッドを用いたAEDの使用が承認されたことにより、安心して使用することが可能となった。

本市の公共施設に設置しているAEDについても、対応する専用の小児用電極パッドが販売され次第、速やかに

備え付けたいと考えている。

今後とも、市民、企業、行政が連携して、地域における救急体制の充実を図りたい。

### 国際観光

**議員 本市の外国人観光客の誘致策と受け入れ体制について伺いたい。**

**観光部長** 外国人観光客の誘致策としては、外国人宿泊者数の約6割を占める東アジア地域を対象に、国際観光展への参加や釜山事務所を拠点とした観光PR活動等を行っている。

また、外国人観光客向けの案内書を総合観光案内所や県の観光情報センターに設置し、訪れた外国人観光客への観光情報の提供を行っている。近年増加傾向にある国際観光船の入港に際しては、県・市・観光業界で組織する国際船受け入れ委員会による歓迎セレモニーを初め、ボランティアガイドによる外国語観光案内、外貨両替サービス等により受け入れ体制の充実を図っている。さらに、観光関連従事者を対象に、「中国人・韓国人観光客おもてなし講座」を開催するなど、接遇の向上にも努めている。

観光に係る案内板についても、外国人観光客が訪れる地域を中心に、日本語・英語・中国語・韓国語の4カ国語表記に逐次切り替えていきたい。

### 子育て支援

**議員 子どもが本に親しむ環境づくりについて伺いたい。**

**子ども部長** 本市では、子どもが本に親しむ環境をつくるため、幼児期から就園前の時期において、民生委員が中

心となつて行う「お遊び教室」の26カ所のほぼ全部で、保育士等による絵本や紙芝居の読み聞かせ等を実施している。また、子育て支援センターにおいても、各センターの自主事業として、月1回から週1回の頻度で絵本や紙芝居の読み聞かせを行うとともに、月齢に合わせた本の紹介や図書に関する相談等を実施している。

平成20年1

月に開館予定の（仮称）長崎市立図書館には、子どもが伸び伸びと楽しめる空間として児童コーナーをつくり、約4万冊を収蔵できる書架及び専用カウンターを設置し、専門スタッフによる親子で親しめる児童サービスを展開することとしている。また、児童コーナーでは、お話の部屋を設け、子どもの想像力や感受性をはぐくむため、絵本や紙芝居の読み聞かせ等を定期的に開催する予定である。



（仮称）長崎市立図書館イメージ図

## 日本共産党

### 郵便集配業務

**議員 伊王島・高島・長浦郵便局での集配業務継続に対する見解を伺いたい。**

**市長** 日本郵政公社は、郵政事務の民営・分社化に向け、事務の効率化及び

コスト削減を図っており、本市では、平成18年10月に伊王島・高島・長浦郵便局の無集配化が予定されていた。しかし、内部の諸準備が整わず、19年2月に延期されたと聞き及んでいる。

今後とも、地域の実情に即し、利用者の立場に立ったサービスの提供について日本郵政公社と協議していきたい。

### いじめ問題

**議員 いじめ・自殺のない学校づくりについて伺いたい。**

**教育長** 全国で、いじめが原因で児童生徒が自ら命を絶つという痛ましい事件が相次いでいるが、本市における本年度のいじめの発生件数は、小中学校あわせて118件となっている。その主な要因は、学校や家庭におけるストレスと言われている。

そこで、本市教育委員会では、児童生徒の心の教育について重点的に取り組み、教職員対象にストレスマネジメント研修を実施するなど各種施策を積極的に実施している。なお、毎年4月には、学校長を通じ、教職員に対し、児童生徒の心や体のストレス反応に十分注意し対処するよう指導している。

また、生徒指導の取り組みの基本は、教員の一致協力した指導体制づくりと多様な視点を通して児童生徒への理解を深めることであり、教員が問題を一人で抱え込むことがないよう、学校長に対し、校内での情報の共有化を図るよう繰り返し指導している。

### 児童福祉

**議員 放課後児童クラブの充実について伺いたい。**